

次期会長抱負



鹿子木 道代

次期会長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いであります。

私たちの活動の柱である「女性と女兒の生活向上」は認証以来変わることのない熊本クラブの重要な使命です。これまで同様に奉仕プログラムに注力するとともに、教育的支援にも大きな情熱をもって取り組んで参ります。社会情勢が不安定な中、支援のあり方も多様化しております。私たちは時代の変化を敏感に捉え、女性と女兒が困難を乗り越え、自立への第一歩を踏み出せる一助となれるよう尽力いたします。ソロプチミストとしての原点を忘れず、私たち会員自身も活動を楽しみながら誠心誠意努めてまいり所存です。皆様の温かいご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。

お楽しみ会報告

★お楽しみ＆お誘いの会

2025年度は「手作りブローチワークショップ」を開催しました。

山下会員のご厚意ですきやき茂川さんのワンフロア貸切で“世界に一つだけ”のビーズブローチ作りに挑戦。講師に早川和代様をお招きして、繊細で華やかな作品が出来上がりました。参加者は8名のゲストと12名の会員。和やかな雰囲気の中、ゲストの方々に私たちの活動をご理解いただく良い機会となりました。

作成後はサンドイッチランチ会にて楽しい懇親会となり、親睦を深めることができました。



★クリスマス会合

今年も12月定例会合はドレスコード“クリスマス”。会員の装いや色とりどりのグッズで華やかな雰囲気となりました。議事が終わる頃、大きな袋を持ったサンタさんがサプライズ登場！会場が一気にクリスマスモードとなりました。

バルーンアート達人でもあるサンタさんは、目の前であっという間にカラフルな作品を作り上げてくれました。作品当てクイズも盛り上がり正解者は作品をもらってご満悦♥最後は袋にいっぱい詰まったバルーンの争奪ジャンケン大会!! 童心に帰ってわくわくするひとときを過ごしました。



★入会式＆新年会＆クラブオークション

1月定例会合では開会に先立ち熊本クラブ47年の歴史のなかで初めての男性会員の入会式を行いました。グローバルな視野をお持ちのフレッシュな方を会員一同心から歓迎いたしました。議事終了後の新年会では早速爽やかなフルート演奏もご披露いただき多才な一面も発揮。



続いて恒例のクラブオークション。テンポの良い掛け声で持ち寄った品物も次々とお買い上げとなり、1本4kgを超える湯島大根の登場に驚きつつもあっという間に完売。

今年も笑顔溢れる新年会とオークションで新年がスタートとなりました。



こんな方たちを探しています 詳しくはホームページをご覧ください

国際ソロプチミストアメリカ連盟・日本南リジョン賞

●夢を生きる:女性のための教育・訓練賞

クラブ賞

●輝く女性賞

ソロプチミスト日本財団賞

●女性研究者賞

●ドリーム賞

●千嘉代子賞

●社会ボランティア賞

●学生ボランティア賞

●活動資金援助

●災害復興援助

新入会員を迎えて

今期は2名の新入会員をお迎えしました。



平野 貴寛 会員



宮本あゆみ 会員

よろしくお願いいたします (2026年7月～2027年6月)

●理事会

会長 : 鹿子木道代
会長エレクト : 正木英津子
副会長 : 山下 美希
R.セクレタリー : 宇野 美穂
C.セクレタリー : 牧 充希子
トレジャラー : 正木英津子
A.トレジャラー : 宮本あゆみ
理事(2年) : 伊津野和恵
理事(1年) : 牧野 智子

●委員長

プログラム : 宇野 美穂
財務・資金調達 : 塚本 敬子
メンバーシップ・SOLT・広報 : 硯川和歌子
ソロプチミスト日本財団 : 牧野 智子



お疲れ様でした (2025年7月～2026年6月)

●理事会

会長 : 硯川和歌子
会長エレクト : 堀川 光江
副会長 : 牧野 智子
R.セクレタリー : 牧 充希子
C.セクレタリー : 牧野 智子
トレジャラー : 正木英津子
A.トレジャラー : 江口 浩美
理事(2年) : 戸次 元子
理事(1年) : 伊津野和恵

●委員長

プログラム : 宇野 美穂
財務・資金調達 : 鹿子木道代
メンバーシップ・SOLT : 和田かおる
広報 : 山下 美希
ソロプチミスト日本財団 : 塚本 敬子



Soroptimist International of Kumamoto

国際ソロプチミスト熊本

広報誌

2026年7月 ▶ 2027年6月

会長挨拶



硯川 和歌子

国際ソロプチミスト熊本は、2025.7 - 2026.6 年期に認証 47 年を迎えることができました。これもひとえに、姉妹クラブの皆様の真摯なる友情と地域社会のお支えがあつてのことと、改めて皆様のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。

7月のガールズカンファレンスでは推薦した2名の生徒さんの積極的な姿に感動し、9月のクラブ役員研修会では会員増強の表彰を受け、10月には親睦とお誘いを兼ねたワークショップの開催、11月の年次贈呈式では2団体受賞の栄誉に輝き、12月にはTake One Step 進学応援プロジェクトで今期も優秀な方に給付金をお渡しできました。認証月の2月に行ったチャリティー事業には数か月の準備を要しましたが、275名もの参加者の前でクラブ賞贈呈を行い私たちの活動を広くお伝えすることもできました。独自のプログラムSI熊本「母と子の夢を拓く」プロジェクトも7年目となり10名のシングルマザーを支援いたしました。4月のリジョン大会では思いがけず永年クラブ

への感謝状を拝受し、諸先輩方が培ってこられた歴史の重みを肌で感じました。同じく4月には「夢を拓く: 女子中高生のためのキャリア・サポート」を実施し、3回目となる英語に特化したセッションを企画しましたが、はじめて募集した高校生運営委員のアイデアと行動力に圧倒されつつ、日本の未来を託す世代の頼もしさを誇らしく思ったことでした。

このように1年を振り返りますと本当に瞬く間の歳月でしたが、会員一丸となつてこなしてきた数々の活動が、私たちの自信となり活力となり、次の歩みへの背中を押してくれています。これからも、今期出会うことができた多くの方からの涙や笑顔をはげみに、SI熊本らしい視点で、私たちができる ボランティア活動を行ってまいります。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



2025年度 SI熊本「母と子の夢を拓く」プロジェクト

本プロジェクトは、経済的事情から高校進学をためらうお子様を持つシングルマザーと、資格取得やキャリアアップを通して生活向上を目指す母親を支援する目的で、国際ソロプチミスト熊本認証40周年を記念して立ち上げられました。今期で8年目を迎え、これまでに60名以上の母と子を支援しております。

近年は高校授業料の無償化等の影響もあり、応募者数は減少傾向にありました。しかし、本年度より応募方法を従来の郵送からGoogleフォームへ変更したことで、より多くの方が気軽に応募できるようになり、前年度の約10倍となる多数の応募が寄せられました。私たちは、その大きな反響に、支援を求めながらもこれまで声を上げられずにいた方々の存在を再認識いたしました。

応募書類には、一人ひとりの切実な思いや日々の努力、子どもたちの未来への願いが綴られており、選考は大変難しいものとなりました。厳正なる選考の結果、本年度は、高校進学を希望するお子様を持つシングルマザー3名、お母様ご自身が資格取得などキャリアアップを目指すシングルマザー1名、さらに次点者7名を含む計11名を支援することができました。

支援金は、チャリティーランチコンサートや例会の場において、直接お会いしてお渡しいたしました。実際にお話を伺う中で、「子どもに高校進学を諦めさせたくない」「忙しくてこれまで応募できなかった」という率直なお言葉から、日々の生活に追われて、支援にたどり着くことさえ容易ではないシングルマザーの厳しい現状を肌で感じました。また、贈呈の場では「同じように頑張っている方々と出会えて心強かった」といった声も寄せられ、孤立しがちなシングルマザー同士をつなぐ機会にもなっていることを感じました。中でも、「支援を受けた子どもが、将来誰かを支える人に育ってほしい」というお母様の言葉は深く胸に響き、本事業の社会的意義の大きさを改めて実感いたしました。

この活動は、単なる経済的支援にとどまらず、困難な状況の中でも未来を諦めずに歩もうとする母と子に、「あなたを応援している人がいる」というメッセージを届ける活動でもあります。今後も地域社会の中で支援の輪を広げ、一人でも多くの母と子が夢に向かって歩んでいけるよう、継続して活動してまいります。

私たちの活動をホームページでご覧下さい
<https://www.si-kumamoto.org/>

国際ソロプチミスト熊本

検索



ホームページ



Instagram

定例会合 : 毎月第3火曜日 10:00～13:00 会場 : ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

発行日 : 2026年6月30日

2025年度 クラブ賞

【日本南リジョン】

●夢を生きる 女性のための教育・訓練賞 M.K. 様

この賞は、家族の主な生計を担いながら、教育や職業訓練を通して生活の向上を目指す女性を支援するものです。今期は、幼いお子さまを育てながら、公認心理師資格の取得を目指し、放送大学で心理学を学んでおられる M.K. 様に贈呈いたしました。

M.K. 様は、出口の見えない苦しみの中で、専門的なカウンセリングに救われたご自身の経験をもとに、将来は親子関係や DV 被害に苦しむ方々の心の支えとなることを目指しておられます。また、学業と並行して小学校で相談員として勤務される中で、子どもや家庭が抱えるさまざまな問題に触れるたびに、支援の必要性和ご自身の使命を強く感じていらっしゃる。この「夢を生きる賞」受賞に際し、自分の努力を認めてくださる方々の存在が大きな励みになりました、と笑顔で語ってくださいました。



2025年度 Take One Step 進学応援プロジェクト

Take One Step 進学応援プロジェクトは、国際ソロプチミスト日本南リジョンが主催する、経済的な理由で進学を諦めざるを得ない高校3年生女子に対し支援金を給付するものです。今年度は熊本信愛女学院高等学校の塩田彩七様を推薦し、南リジョンより10万円が贈呈されました。塩田様は、人それぞれの感じ方や価値観に寄り添い、心の支えになれる存在を目指して、臨床心理士になる夢を持られています。このたび、神戸大学国際人間科学部グローバル文化学科に進学されました。



2025年度 SI熊本 夢を拓く：女子中高生のための キャリア・サポート

2026年4月26日(日)、くまもと県民交流館パレア会議室1において、今年度も「英語に特化したキャリア・サポート」を開催しました。今回は、高校生運営委員が企画段階から参加し、当日の進行やグループワークの内容づくりにも主体的に関わるなど、生徒たちの視点を取り入れた、これまで以上に実践的で活気あふれるプログラムとなりました。

当日は、43名の女子高校生が参加し、熊本県立大学国際教育交流センター国際交流コーディネーターの姫野早百合氏より、「世界とつながる私の選択－国際協力と教育の現場から考える、進路と生き方」と題して英語でご講演いただきました。海外での国際協力や教育支援の経験を交えながら、「進路は選ぶものでなく自分で作るもの」と、自分らしい進路を切り拓くことの大切さについて語られ、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。

後半は、熊本県国際交流員イヴァン・ヤツコ氏と語学ボランティアのサポートのもと、運営委員が各グループのファシリテーターを務め、将来の夢や目標、困難への対応策について英語で意見交換を行いました。最初は緊張していた生徒たちも、最後には堂々と英語で自分の思いを伝える姿が見られました。企画から運営まで中心となって活躍した高校生運営委員の成長も大変頼もしく、生徒たちの未来への大きな可能性を感じる一日となりました。

なお、当日は報道関係4社の取材を受け、RKK、KAB、TKU各社で放映。熊日新聞に記事掲載がありました。



令和7年度 公益財団法人 ソロプチミスト日本財団 年次贈呈式 W受賞報告！

2025年11月6日(木)
岡谷鋼機名古屋公会堂において、令和7年度年次贈呈式が開催されクラブから10名が参加しました。



●社会ボランティア賞 認定NPO法人「しらさぎ」

全国131の応募の中からの25件に選ばれ、沼田吉輝理事長が登壇。千谷子理事長より賞状を授与されました。
活動概要：電気工業会社で培った高所作業の専門技術を生かしたボランティア活動に取り組み、八代城跡石垣・水島の清掃、阿蘇での植林・除草、水前寺成趣園の清掃・樹木伐採を続けています。

●学生ボランティア賞 防犯若武者ベアーズ

全国44件の応募の中からの7件の内に選ばれ、当日はビデオレターで活動報告が行われました。
活動概要：大学生を中心に、小学校下校時の見守り、金融機関での特殊詐欺の注意喚起、また、自転車の盗難予防のための、駐輪場での二重ロックを呼びかけるキャンペーンを実施。現在は、動画制作にも力を入れており、SNSを活用した情報発信は被害を未然に防ぐことにつながっています。

2025年度 女性と女児の ためのチャリティー事業 「IL BUONO(イル・ボーノ)」 チャリティーランチコンサート

2026年2月6日



40周年記念チャリティー事業以来7年ぶりに「ザ・レジェンド」の吉田知明氏率いるニューグループ「IL BUONO」のランチコンサートを275名のお客様をお迎えしてホテルキャッスルで開催しました。

開催に先立ち、恒例のクラブ贈呈式に6名の受賞者をお迎えし、受賞後のお礼の言葉にチャリティーの目的や意義が深く伝わり、心に残る贈呈式となりました。

グループ結成ホヤホヤの3人の「IL BOUNO」の若者らしい素敵な歌声に会場が引き込まれ、またピアニストの新垣隆氏の絶妙で豊かなピアノ伴奏は圧巻でした。

おいしいお料理に加え、「IL BOUNO」の素敵なハーモニーにサービス精神に溢れた彼らの姿に、大満足のお客様でした。このチャリティーに多くのご協賛をいただいた皆様、心より感謝申し上げます。



第40回 南リジョン大会 報告 2026年4月16～17日

南リジョン創立40周年を記念して、南リジョンで最初にソロプチミストクラブが誕生した北九州の地において、「第40回南リジョン大会」が開催され、当クラブから12名が参加しました。(サポータークラブ：SI北九州 於：リーガロイヤル小倉 参加：80クラブ677名)

1日目 クラブ表彰式では鹿子木前会長が「3メンバースピン」表彰を受け、続く南リジョン記念式典では硯川会長が「永年クラブ(認証40周年以上)」表彰を受けました。「南リジョンの夕べ」の後は、ホテル最上階のラウンジで小倉の夜景を一望しながら「リジョン40周年記念チャリティーパーティー」に参加。どちらも趣向を凝らされた演出に浸ることができました。

2日目 午前中は5分科会に分かれて学びの時間。今回も、他クラブの事例発表や委員会から提供された資料に刺激を受けました。午後からは「テルマエ・ロマエ」「プリウス」等の作品で著名な漫画家ヤマザキマリ氏の講演。軽快な口調で語られるドラマチックな体験談やヴィオラ奏者のお母さまとの笑いとの涙の物語は、もっともっと聴いていたいと思ったほどでした。



★2025年度のお取り寄せ★

今年度も毎年恒例のシクラメンやプレミアムトマトまいひめ物語、茅乃舎だし、肥後製油、加茂川お惣菜、白とうもろこし&ヤングコーン、シャインマスカット、秋月梨、ロゼワイン、湯島大根、麻婆豆腐醬など、毎月のように企画して、会員の協力のもと、資金調達に励むことができました。

